

## 外国語コミュニケーション：初修外国語

### 1. 授業の目的（授業のねらい）

外国語コミュニケーション（初修外国語）は、英語以外の言語との出会いと初歩的な語学学修から異文化理解へと内容を展開し、異文化に対する学生の興味を喚起することを目標とする。

### 2. 到達目標（育成する資質・能力）

①グローバル化する現代社会に対応できるよう、異文化に対する理解を深め、自文化の発信にも寄与できることを目指す。

②英語以外の言語について基礎的内容の習得をし、高度な学習内容に進む意欲を育成する。

③外国語で初歩的なコミュニケーションをとることができるようになる。

### 3. 授業内容・方法（シラバス）

各言語の入門の知識の習得（発音・語彙等）及び各言語の背景にある諸文化に対する理解を深められるような授業内容とし、効率的な15回の授業構成をする。

授業においては、教員による講義に加え、学生が活動を行うなど、授業に積極的に参加する形式を取るよう工夫する。具体的には、適宜小テストやレポートを課し自宅学習を促す。ほかに、グループでの活動を進めたり、授業内に学生が成果を発表するなどの形で授業を構成する。

また、異文化理解のため、映像資料等を利用し、視覚・聴覚に訴える授業を心がける。

### 4. 成績評価方法

これまで各言語で行われてきた方法を踏まえた評価を行う。各言語の基礎的語学力習得の確認として、語彙力・リスニング力・スピーキング力・ライティング力の入門部分に関する知識を身につけているかどうかを、学期を通して、口頭・筆記等の各種形式を用いて評価する。また、学生が異文化理解を深められたのかという視点もレポート等を通して評価に取り込むこととする。